

村上市

三面地域まちづくり協議会 第3回定期総会議案書

平成26年4月17日(木)午後7時00分～
布部集落センター



三面地域まちづくり協議会
事務局 新潟県村上市岩沢 5611
電話:0254-72-6881

まちづくりの理念

三面の雄大な自然と伝統・風景を大切にしながら
活気と地域愛に満ちたまちをつくる

地域の将来像

- 一、地域で支え合うという意識が高く、子どもからお年寄りまで安心して生き生きと暮らせるまち
- 一、豊かな自然環境が守られ、美しい里山の風景があるまち
- 一、集落行事やスポーツ大会を通じて、住民同士の交流が盛んに行われ、お互いのつながりが強いまち
- 一、三面の魅力に惹かれ訪れる人で賑わうまち

【総会次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 三面小学校長あいさつ
- 4 議長および議事録署名人の選出
- 5 議 事
 - 第1号議案 平成25年度事業報告および収支決算の承認について
(監査報告)
 - 第2号議案 三面地域まちづくり協議会役員(案)の承認について
 - 第3号議案 平成26年度事業計画(案)および収支予算(案)の承認について
(新役員代表あいさつ)
- 6 議長退任
- 7 閉 会

【懇親会次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 乾 杯

(宴)

- 4 万歳三唱
- 5 閉 会

第1号議案

平成25年度事業報告および収支決算の承認について

平成25年度の事業報告および収支決算について、別紙のとおり承認を求めます。

平成26年4月17日提出

平成26年**4**月**17**日承認

平成25年度 事業報告書

区分	事業名、取組項目	実施時期	対象・人員	取組内容	効果・課題等
1 地域資源の調査・活用と情報発信により、交流人口の拡大を図る。	(1)情報発信事業				
	①三面地域まちづくり通信の発行	7月15日 11月15日 1月15日 3月31日	全世帯	まちづくり協議会の取組状況などを紹介する広報紙を年4回発行した。	広報紙の発行により、まちづくり協議会の周知が図られた。
2 地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	(2)地域資源調査事業				
	①地域資源調査	10月20日	調査参加8人	布部集落内の地域資源を調査した。また猿田ホテルの里看板を外注により設置した。	日ごろ気が付かない地域資源の再発見ができた。準備が短かったので1集落の散策となった。
3 地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。	(1)地域住民交流事業				
	①三面地域大運動会および大交流会	9月8日	170人	地域全体を対象とした運動会を行い、終了後、バーベキューによる交流会を行った。	昨年より多くの参加者があり運動会・交流会を通じて他集落の人と大いに交流が図られた。より多くの参加を得るよう種目や周知の方法をさらに検討する。
4 集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みをつくる。	②食を通じた交流事業の実施	6～9月	構成員	食に関する組織やまびこ塾を組織した。また運動会後の交流会でおにぎりを作り参加者に提供した。	食に関係する事業を推進するための準備ができた。やまびこ塾を組織したがほとんど活動ができなかった。
	(1)環境美化事業				
5 まちづくりの人材育成と組織力の向上を図る。	①鷺ヶ巣登山道整備事業	6月16日	14人	地域のシンボルである鷺ヶ巣山登山道の草刈り、倒木処理および登山道登り口に指示板を設置した。	登山道の整備と鷺ヶ巣山登山道が広く知られた。チラシを配布しボランティアを募集したが参加者が少なかったので募集方法の見直しが必要である。
	②健康ウォーキング兼クリーン作戦	10月20日	45人	岩崩から布部ヤナ場までと石住から布部ヤナ場までの2班で分かれ、ウォーキングを兼ねて県道鶴岡村上線沿線のゴミ拾いを実施した。	地域の環境美化と参加者の健康増進が図られた。参加者のより良い送迎方法の検討が必要である。
6 集落の活性化支援と地域で支える仕組みをつくる。	(1)集落活動支援事業				
	①集落活性化支援助成金事業	4～3月	集落等	集落等で取り組んでいる活動を支援するため、10集落、17事業に対し助成金の交付を行った。	新たな取り組みや既存の事業を発展させるなど集落の活性化に効果があった。事業および対象経費の見直しが必要である。
7 まちづくりの人材育成と組織力の向上を図る。	(1)調査研修事業				
	①先進地事例の調査研究	11月17日	13人	長岡市の農村レストラン&農産物直売所すがばたけおよび十日町市の道の駅瀬替えの郷せんだを視察した。	農村レストランについて研修を受けたことで、食材を生かした今後の取り組みに対する知識が得られた。当協議会の活動に合った研修先や視察内容を選定する必要がある。

会議の開催状況

1. 総会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 4月18日(木) 布部集落センター	第2回定期総会	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度事業報告および収支決算の承認について ・25年度事業計画および収支予算の承認について ・役員交代の承認について ・懇親会 	38人 代議員24人(うち委任状11人)

2. 役員会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 4月10日(水) 朝日支所会議室	第1回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会議案書について ・総会役割分担について 	14人 (16人)
8月7日(水) 文化会館会議室	第2回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会の進捗状況および今後の予定について ・三面地域大運動会について 	12人 (21人)
12月12日(木) 布部集落センター	第3回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗状況および今後の計画について ・予算執行状況について ・役員改選について 	11人 (12人)
平成26年 2月26日(水) 布部集落センター	第4回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選出について ・部会の割振りについて ・今後の日程について 	11人 (17人)
3月26日(水) 布部集落センター	第5回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度事業報告及び決算見込みについて ・26年度事業計画(案)及び予算(案)について ・総会について 	12人 (18人)

※参加者数欄の()内数値は、事務局及び役員以外の部会員等を含めた人数

3. 専門部会

(1) 環境部会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 5月9日(木) 朝日支所応接室	環境部会正副部会長 打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回環境部会資料の確認 ・班編成、予算、募集について 	3人
5月16日(木) 朝日支所会議室	第1回環境部会	<ul style="list-style-type: none"> ・鷲ヶ巣山登山道整備事業について 	7人
9月19日(木) 朝日支所会議室	第2回環境部会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ウォーキング兼クリーン作戦について 	9人
平成26年 2月4日(火) 朝日支所会議室	第3回環境部会	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度事業の総括について ・26年度への事業引継ぎ 	9人
3月13日(木) 朝日支所会議室	一斉部会	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度事業計画(案)および予算(案)について 	4人

(2) 交流部会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成24年 5月9日(木) 朝日支所会議室	第1回交流部会	<ul style="list-style-type: none"> ・三面地域運動会について ・部会員の選任について 	9人
6月3日(月) 朝日支所会議室	第2回交流部会	<ul style="list-style-type: none"> ・部会員の追加交代について ・三面地域運動会について ・人口減少問題に対する意見について 	7人
7月3日(水) 朝日支所会議室	第3回交流部会	<ul style="list-style-type: none"> ・三面地域運動会について 	8人

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
7月22日(月) 文化会館会議室	第4回交流部会	・三面地域運動会について	10人
9月4日(水) 布部集落センター	第5回交流部会	・地域交流運動会の役割分担について	11人
平成26年 2月6日(木) 朝日支所会議室	第6回交流部会	・25年度事業の総括について ・26年度への事業引継ぎ	8人
3月13日(木) 朝日支所会議室	一斉部会	・26年度事業計画(案)および予算(案)について	7人

(3) 地域振興部会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 6月11日(火) 朝日支所会議室	第1回地域振興部会	・集落活性化支援について ・広報紙の発行について ・地域資源調査について ・猿田集落のホテルについて	6人
7月2日(火) 朝日支所会議室	第2回地域振興部会	・集落活性化支援について ・広報紙の発行について ・地域資源調査について ・猿田集落のホテルについて	7人
10月10日(金) 朝日支所会議室	第3回地域振興部会	・集落活性化支援事業について ・広報紙の発行について ・地域資源調査について	8人
平成26年 2月5日(水) 朝日支所会議室	第4回地域振興部会	・集落活性化支援事業について ・広報紙の発行について ・25年度事業の総括について ・26年度への事業引継ぎ	9人
3月13日(木) 朝日支所会議室	一斉部会	・26年度事業計画(案)および予算(案)について	6人

(4) やまびこ塾

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 6月23日(日) 朝日支所会議室	第1回やまびこ塾	・正副代表の選出について ・今後の活動について	6人
7月18日(木) 布部集落センター	第2回やまびこ塾	・正副代表の選出について ・今後の活動について	8人

4. 評議委員会

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成25年 4月3日(水) 布部集落センター	第1回評議委員会	・24年度事業報告および会計報告 ・25年度事業計画(案)および予算(案)について	7人 (15人)

※参加者数欄の()内数値は、事務局および役員を含めた人数

5. その他

期日／場所	会議名	内 容	参加者数
平成26年 1月18日(土) 大吉亭	新年会	・まちづくり活動に対する意見交換	14人

平成25年度 収支決算書

収 入

(単位:円)

区 分	決算額	当初予算額	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,532,000	1,532,000	0	市地域まちづくり交付金 1,532,000
2 繰越金	209,714	209,000	714	前年度繰越金 209,714
3 雑入	35,111	1,000	34,111	預金利息および基金利息 111 運動会交流会参加費 35,000
合 計	1,776,825	1,742,000	34,825	

支 出

(単位:円)

区 分	事 業	決算額	当初予算額	比 較	説 明
1	環境美化経費	161,518	200,000	△38,482	
	1 環境美化事業	161,518	200,000	△38,482	鷺ヶ巣登山道整備事業 28,332 健康ウォーキング兼クリーン作戦 85,936 環境美化啓発看板作製 47,250
2	交流事業経費	230,080	200,000	30,080	
	1 地域住民交流事業	230,080	200,000	30,080	地域大運動会および交流会 194,080 三面小学校文化祭後援事業 管弦楽団費用弁償 36,000 食を通じた交流事業 0
3	地域振興経費	859,312	760,000	99,312	
	1 情報発信事業	184,800	160,000	24,800	広報紙の発行(4回) 184,800
	2 地域資源調査事業	126,000	100,000	26,000	猿田ホテルの里看板作製設置 126,000
	3 集落活動支援事業	498,512	500,000	△1,488	集落活性化支援助成金事業 498,512
	4 三面太鼓支援事業	50,000	0	50,000	三面太鼓楽譜作成・指導講師謝礼 50,000
4	組織運営経費	189,824	320,000	△130,176	
	1 報償費	140,000	210,000	△70,000	役員15人、部会員14人報償 140,000
	2 旅費	0	20,000	△20,000	旅費交通費 0
	3 需用費	12,324	20,000	△7,676	消耗品費、食糧費 12,324
	4 役務費	0	10,000	△10,000	通信費 0
	5 使用料および賃借料	6,000	20,000	△14,000	布部集落センター借上料 6,000
	6 備品購入費	31,500	30,000	1,500	協議会横断幕 31,500
	7 負担金	0	10,000	△10,000	会議等負担金 0
5	先進地事例調査研究経費	82,277	150,000	△67,723	
	1 調査研修事業	82,277	150,000	△67,723	視察研修経費 82,277
6	積立金	100,041	100,000	41	
	1 基金積立金	100,041	100,000	41	三面太鼓支援事業積立金 100,041
7	予備費	0	12,000	△12,000	
	1 予備費	0	12,000	△12,000	予備費 0
合 計		1,623,052	1,742,000	△118,948	

収入合計 1,776,825 円 - 支出合計 1,623,052 円 = 153,773 円(翌年度へ繰り越し)

積立金

(単位:円)

名 称	増 加	減 少	現在高	説 明
三面太鼓支援事業積立金	100,041	0	300,041	三面小学校で長年受け継がれている「三面太鼓」の太鼓隊を支援する。

備品台帳

No.	分類	物品	規格	購入日	価格	購入先	保管場所	備考
1	諸機械器具類	デジタルカメラ	リソパ sSZ-14	H24.9.5	13,800	ケーズデンキ	朝日支所事務室	
2	雑品	横断幕	900*3600	H26.3.28	31,500	(有)朝日印刷	朝日支所事務室	布(トロマット)
3		以下余白						
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

平成25年度 集落活性化支援事業一覧

金額単位:円

集落名	事業名/実施日	事業の目的、内容等	決算額	交付額	備考
岩崩	岩崩区敬老会 /平成25年9月15日	集落公民館にて敬老対象者を招待し、会食を取りながら集落の昔話を聞いたり、カラオケをして、11時から15時頃まで敬老会を行った。若き頃を思い出したり、笑って歌って楽しく1日を過ごした。	73,108	30,000	予算額91,000円 申請額35,000円
	岩崩世代交流運動会 /平成25年8月25日	防災訓練の終了後、公民館前広場を利用し、集落住民約40人が参加した運動会を行った。小さい子どもからお年寄りまで混合で競技を行った。その後、バーベキューをして世代交流を深め、有意義な1日を過ごした。	54,469	25,000	予算額70,000円 申請額35,000円
荃太	盆踊り櫓作製事業 /平成25年8月14日	今年も6月頃から夜間毎週水曜日に座元関係者の若者が集まり練習を重ね、8月14日の本番には大変盛大に踊りに負けない演奏をしてくれました。会場にはお酒とジュースなどを用意し、踊り子のみなさんにはもれなく景品を差し上げ、またくじ引きで当てた人もあり、すばらしい盆踊り大会でした。参加者は80人位	146,920	50,000	予算額146,920円 申請額50,000円
千縄	盆踊り櫓作製事業 /平成25年8月14日	今年も6月頃から夜間毎週水曜日に座元関係者の若者が集まり練習を重ね、8月14日の本番には大変盛大に踊りに負けない演奏をしてくれました。会場にはお酒とジュースなどを用意し、踊り子のみなさんにはもれなく景品を差し上げ、またくじ引きで当てた人もあり、すばらしい盆踊り大会でした。参加者は80人位	126,920	50,000	予算額126,920円 申請額50,000円
新屋	ニジマスのつかみ取り大会 /平成25年8月25日	防災訓練終了後、実行委員15名と有志15名が準備にあたる。三面川左岸辺に簡単なニジマス放流施設を築造する。午前11時開始にて子ども達が約1時間つかみ取りに興ずる。また慰労会準備班は、ニジマスを使用した刺身、塩焼き、焼きそば、焼き肉の準備を行う。つかみ取り終了後、参加者全員(70名)でニジマス料理メイシンの昼食とした。	40,960	20,000	予算額50,000円 申請額20,000円
	宮城県研修旅行 /平成25年10月13日	新屋区在住の区民(年齢男女を問わず)が対象。参加者募集チラシにより参加者は49名。震災後の宮城県を購物ツアーにて応援する。午前7時から午後8時30分の予定にて震災後2年7ヶ月の宮城県を各自の目で見つかりとらえ、現地に暮らす人々とふれあい交流した。	214,624	50,000	予算額190,000円 申請額50,000円

集落名	事業名/実施日	事業の目的、内容等	決算額	交付額	備考
中新保	中新保農業収穫祭 /平成25年10月20日	集落住民22名が参加し、今年収穫された新米や野菜を再利用した料理をふるまった。老若スタッフが10時頃よりおにぎり、味噌汁、焼きそば、枝豆などの料理を提供し好評を得た。	30,775	15,000	予算額58,000円 申請額28,000円
	古文書・史跡等の調査 /平成25年8月1日 ～平成26年3月12日	・古文書の解読整理と裏付調査をした。 ・「先人に学ぶ」として冊子にまとめた。 ・大場沢堰土堤防道の整備は消雪後実施する。	43,732	20,000	予算額45,000円 申請額20,000円
	堀野区納涼祭 /平成25年8月10日	集落住民と帰省中の親類方々を含め23人が参加した。サザエ、カキ、鮎、鯿、ホルモン焼、焼き肉等を調理してふるまった。また夜には花火を打ち上げた。	54,639	19,000	予算額39,000円 申請額19,000円
堀野区齊の神	堀野区齊の神 /平成26年1月19日	竹やわら等で齊の神をつくり、地域の無病息災を祈る。広場での催しが終了後、集落センターで集落住民の懇親会を行った。参加者(齊の神20人、懇親会18人)	16,065	8,000	予算額10,000円 申請額5,000円
	石住集落研修視察 /平成25年7月14日	集落住民16名が参加し、栗島への旅行を行った。	79,380	39,000	予算額105,200円 申請額50,000円
上中島	どんど焼き /平成26年1月19日	集落地内でどんど焼きを行い、大人から子どもまで30名以上が参加。どんど焼き終了後、お楽しみ会の開催	23,099	11,000	予算額10,000円 申請額5,000円
	上中島地蔵様まつり /平成25年7月23日	PTA等により焼きそば、綿あめ、チヨコバナナ、水風船、やきとり、かき水の模擬店を出店し、上中島の小中学生をはじめ、集落民に無料で提供する。参加人数、子ども、スタッフを含め50人が参加した。	25,238	10,000	予算額21,000円 申請額10,000円
	上中島どんど焼き /平成26年1月12日	竹、わらや枯れ木でやぐらをつくり、破魔矢などの飾りつけを行った。また集落小学校 PTA の女性を中心となり、豚汁、おしるこをつくり、お菓子とともに参加者約40人に振る舞った。終了後は集落センターで反省会を行った。	29,050	14,000	予算額40,000円 申請額20,000円
布部	地蔵様祭り /平成25年7月23日	事前準備で、小学校児童が主体となり、全年齢が地蔵様周辺の清掃・草むしりを終業後に行い、飾りつけも行った。また竹燈籠を地蔵堂周辺に設置することとし、6月16日に会員及び集落ボランティアで竹燈籠を作成した。当日は集落住民100人が参加し、焼きそば、かき水、水ヨーヨーなどの縁日を無料で振る舞った。また夜には花火を打ち上げた。	132,326	50,000	予算額285,000円 申請額50,000円

集落名	事業名/実施日	事業の目的、内容等	決算額	交付額	備考
布部	どんと焼き /平成26年1月12日	田んぼでやぐらを組みあげ、布部全戸から門松、注連縄、藁、杉葉などを回収し、これを収めて焚き上げる。火が収まったところで、餅やすめなどを焼き、「五穀豊穣・商売繁盛・無病息災・家内安全・書道の上達」を祈願した。当日は約80人が参加し、お神酒や豚汁を振る舞った。	117,026	50,000	予算額154,000円 申請額50,000円
猿田	ホタルの増殖計画 /平成25年8月7日 ～平成25年8月24日	ホタルの生息している場所の水路の泥上げを行い、水路への流入を防ぐため土止め材を設置し、水路に砂利を敷いた。また水路脇の広場に置いてあった薪などを片付け、ぬかるんでいるところを補修した。	70,510	35,000	予算額50,000円 申請額25,000円

監査報告書

三面地域まちづくり協議会規約第 19 条第 2 項の規定に基づき、平成 25 年度三面地域まちづくり協議会事業報告書及び決算報告書について監査を実施しましたので報告します。

監査の結果

- (1) 収入支出の証拠書類及び預金通帳を照合した結果、誤りはなく適正に処理しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、三面地域まちづくり協議会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

平成 26 年 4 月 3 日

監 事 本間 誠 

監 事 高橋 利行 

第2号議案

三面地域まちづくり協議会役員（案）の承認について

三面地域まちづくり協議会の役員（案）について、次のとおり承認を求めます。

平成26年4月17日提出

平成26年4月17日承認

役職	氏名	選出集落
会長	菅井一志	新屋
副会長	本間誠	石住
副会長	小池徹	布部
事務局長	貝沼一夫	堀野
理事	鷺尾光幸	岩崩
理事	高橋泉	荃太
理事	高橋利行	千縄
理事	田村新作	千縄
理事	本間守	中新保
理事	本間均	石住
理事	板垣安次郎	上中島
理事	佐藤寿一	布部
理事	佐藤正勝	猿田
監事	本間繁壽	岩崩
監事	佐藤信	新屋

第3号議案

平成26年度事業計画（案）および収支予算（案）の承認について

平成26年度の事業計画および収支予算について、案により承認を求めます。

平成26年4月17日提出

平成26年**4**月**17**日承認

平成26年度 事業計画書(案)

区分	事業名、取組項目	実施時期	対象・人員	取組内容	備考
1 地域資源の調査・活用と情報発信により、交流人口の拡大を図る。	(1)情報発信事業				
	①三面地域まちづくり通信の発行	4～3月	全世帯	まちづくり協議会の取組状況などを紹介する広報紙を年4回発行する。	地域振興部会
	(2)地域資源調査事業				
	①地域資源調査	6～11月	集落	地域の名所、名物、名人などを調査し、地域資源マップのデータ収集および看板を設置する。	地域振興部会
	(3)案内看板設置事業				
	①鷲ヶ巣山登山ルート看板の設置	10月	協議会	鷲ヶ巣山登山ルートを表示した案内看板を設置する。	環境部会
2 地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	(1)地域住民交流事業				
	①三面地域大運動会および大交流会	9月7日	構成員	地域住民のスポーツによる交流と親睦を図り、まちづくり活動への参加意識を醸成する。	交流部会
	②食を通じた交流事業の実施	5～3月	構成員	地域の自然環境を生かした料理や昔から伝わる料理などを研究する。	協議会 やまびこ塾
3 地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。	(1)環境保全美化事業				
	①朝日連峰登山道調査	7月	構成員	朝日連峰登山道三面口から三面小屋までの調査および保全活動を行う。	環境部会
	②クリーン作戦	10月	構成員	地域内のゴミ拾いなど美化活動を行う。	環境部会
	③遊歩道の調査	6月	構成員	遊歩道として利用できる場所を調査し、多くの人が利用できるような取り組みを行う。	環境部会
4 集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みをつくる。	(1)集落活動支援事業				
①集落活性化支援助成金事業	4～3月	集落等	集落等で取り組んでいる活動に対し助成金を交付する。	地域振興部会	
5 まちづくりの人材育成と組織力の向上を図る。	(1)調査研修事業				
①先進地事例の調査研究	未定	構成員	先進地事例の調査研究を行う。	協議会	

平成26年度 収支予算書(案)

収入

(単位:円)

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,524,000	1,532,000	△8,000	市地域まちづくり交付金 1,524,000
2 繰越金	153,000	209,000	△56,000	前年度繰越金 153,000
3 雑入	31,000	1,000	30,000	預金利子等 1,000 交流会参加費 30,000
合 計	1,708,000	1,742,000	△34,000	

支出

(単位:円)

区 分	事 業	本年度	前年度	比 較	説 明
1 環境美化経費		140,000	200,000	△60,000	
	1 環境美化事業	140,000	200,000	△60,000	朝日連峰登山道調査 30,000 クリーン作戦 80,000 遊歩道の調査 30,000
2 交流事業経費		280,000	200,000	80,000	
	1 地域住民交流事業	280,000	200,000	80,000	地域大運動会および交流会 食を通じた交流事業の実施 230,000 50,000
3 地域振興経費		830,000	760,000	70,000	
	1 情報発信事業	160,000	160,000	0	三面地域まちづくり通信発行 160,000
	2 地域資源調査事業	90,000	100,000	△10,000	地域資源調査および看板の 設置 90,000
	3 案内看板設置事業	80,000	0	80,000	鷲ヶ巣山登山ルート案内板の 設置 80,000
	4 集落活動支援事業	500,000	500,000	0	集落活性化支援助成金事業 500,000
4 組織運営経費		245,000	320,000	△75,000	
	1 報償費	160,000	210,000	△50,000	役員等報償 160,000
	2 旅費	10,000	20,000	△10,000	旅費交通費 10,000
	3 需用費	20,000	20,000	0	消耗品費、食糧費、印刷費等 20,000
	4 役務費	5,000	10,000	△5,000	通信費、手数料 5,000
	5 使用料および賃借料	10,000	20,000	△10,000	会場、車両等借上げ 10,000
	6 備品購入費	30,000	30,000	0	備品購入 30,000
	7 負担金	10,000	10,000	0	会議等負担金 10,000
5 先進地事例調査研究経費		100,000	150,000	△50,000	
	1 調査研修事業	100,000	150,000	△50,000	視察研修経費 100,000
6 積立金		100,000	100,000	0	
	1 基金積立金	100,000	100,000	0	三面太鼓支援事業積立金 100,000
7 予備費		13,000	12,000	1,000	
	1 予備費	13,000	12,000	1,000	予備費 13,000
合 計		1,708,000	1,742,000	△34,000	

収支差引き残高0円

予算の補正および流用については、会長に一任する。

三面地域まちづくり協議会規約

平成 24 年 3 月 8 日制定

(目的)

第 1 条 本会は、三面の雄大な自然と伝統・風景を大切にしながら、活気と地域愛に満ちたまちをつくることを目的とする。

(名称)

第 2 条 本会は、三面地域まちづくり協議会と称する。

(事務所)

第 3 条 本会の主たる事務所は、村上市岩沢 5611 番地「村上市朝日支所」内に置く。

(事業)

第 4 条 本会は、第 1 条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
- (2) 健康及び福祉の増進に関すること。
- (3) 安全及び安心に関すること。
- (4) 環境の保全及び改善に関すること。
- (5) 地域資源の有効活用に関すること。
- (6) 地域の産業振興に関すること。
- (7) コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
- (8) その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

(構成)

第 5 条 本会は、三面地域に居住する人及び三面地域で事業を実施する個人若しくは法人又は三面地域で活動する各種団体（以下「構成員」という。）をもって構成する。

(役員)

第 6 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 2 名以内
- (3) 事務局長 1 名
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2 名

2 会長、副会長、事務局長、理事及び監事は、役員会において構成員の中から選出し、総会の承認を得る。

3 本会の設立時においては、準備会等で役員を選出し、設立総会において承認を得るこ

とができるものとする。

(役員職務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂行できないときは、その職務を代行する。
- 3 事務局長は、本会事務及び事務局を総括する。
- 4 理事は、本会の円滑な運営に努める。
- 5 監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

(役員任期)

第8条 役員任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠により選出された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(代議員)

第9条 代議員は、本会の構成員の中から集落区長が選出する。

- 2 代議員は、総会において役員会が提案した議題を審議し議決する。
- 3 代議員の定数は、別表に定めるとおりとする。
- 4 代議員任期は2年とし、再任は妨げない。
- 5 代議員の中に欠員が生じた場合、補充できるものとし、その任期は前任者の残任期間とする。
- 6 役員は代議員になることができない。

(顧問)

第10条 本会は、識者、アドバイザーなどによる顧問を必要に応じて置くことができる。

- 2 顧問は、役員会において選任し、総会の承認を得るものとする。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会及び評議委員会とする。

(総会)

第12条 総会は、代議員をもって構成する最高の議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議決定する。

- 2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。
- 3 通常総会は、毎年度1回以上開催し、臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は、代議員の2分の1以上の請求があった場合に開催するものとする。
- 4 総会の議長は、総会において出席代議員のうちから選出する。
- 5 総会は、委任状を含めた代議員の2分の1以上の出席により成立するものとする。
- 6 総会の議事は、出席者の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところに

よる。

7 総会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 地域まちづくり計画の策定及び変更に関する事。
- (2) 規約の制定及び改正に関する事。
- (3) 会長、副会長、事務局長、理事、監事及び顧問の承認に関する事。
- (4) 事業計画、事業報告、予算及び決算に関する事。
- (5) その他、重要事項に関する事。

(総会の議事録)

第 13 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 構成員の現在数及び出席者数（評決委任者を含む）
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名押印し、事務所に備え付けておかななければならない。

(役員会)

第 14 条 役員会は、総会に付議する事項及び本会の運営に関する事項を審議、決定する。

- 2 役員会は、会長、副会長、事務局長、理事及び監事をもって構成し、会長が必要に応じ招集し、議長となる。
- 3 役員会は、構成する役員の 2 分の 1 以上の出席により成立するものとする。
- 4 役員会は、必要に応じて、評議委員及び顧問の出席を求め、助言、指導等を受けることができる。

(評議委員会)

第 15 条 評議委員会は、本会を構成する集落区長及び顧問で構成し、本会の運営に係る助言を行うものとする。

- 2 評議委員会は、会長又は評議委員の求めに応じ、開催することができる。

(専門部会)

第 16 条 本会は、総会で決定された方針に基づき事業を実施するため、必要に応じ専門部会を設置することができる。

- 2 専門部会は、本会の構成員で構成する。
- 3 専門部会には、部会長及び副部会長を置く。
- 4 部会長及び副部会長は、役員会において理事の中から選出する。
- 5 部会長は、部会を代表し会務を総括する。
- 6 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂

行できないときは、その職務を代行する。

7 専門部会は、必要に応じて部会長が招集する。

(事務局)

第 17 条 本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長及び事務局員を置く。

3 事務局長は、会務及び会計を掌握する。

4 事務局員は、事務局長を補佐し、本会の事務及び会計事務を処理する。

(会計)

第 18 条 本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金、会費、出資金及びその他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

3 年度開始後に予算が総会において議決されていない場合においては、会長は、総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収入支出をすることができる。

(監査)

第 19 条 会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び積立金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(規約の変更)

第 20 条 この規約は、総会において総会出席者の2分の1以上の議決を得なければ変更することはできない。

(書類及び帳簿の備付け)

第 21 条 本会の主たる事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第 22 条 本会が各種取組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

(その他)

第 23 条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り、別に定める。

附 則

この規約は、平成 24 年 3 月 8 日から施行する。

別表（第 9 条関係）

集落名	代議員数
岩崩	3 人
荃太	2 人
千縄	3 人
新屋	5 人
中新保	2 人
堀野	1 人
石住	3 人
上中島	2 人
布部	8 人
猿田	1 人

三面地域まちづくり計画



平成24年3月

三面地域まちづくり協議会

三面地域まちづくり計画

はじめに

平成20年4月に、村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5つの市町村が合併し新村上市が誕生しました。村上市では平成21年度に第1次村上市総合計画が策定され、市の将来像を「元気“eまち”村上市」と定め、将来像を実現するための重点戦略として「定住の里づくり」としました。

これまで村上市の各地域では、自治会（集落）、公民館、老人会、婦人会、PTA、防災組織、福祉ボランティア、趣味のサークルなどがさまざまな活動をしてきました。しかし、急速な社会の変化と過疎化、少子高齢化が進む中、市民のニーズは多種多様化し複雑な地域課題が増えてきました。

こうした課題を解決するため、地域のあらゆる人たちが一体となり、意見を出し合い、ともに協力して活動し、均衡ある地域の発展と活性化を図る組織として、旧5市町村の実情に合わせたまちづくり組織が設立されることになりました。



朝日地区においては、昭和の大合併前の旧村単位となる5つの地域で、まちづくり協議会を組織することになり、この度「三面地域まちづくり協議会」を設立する運びとなりました。

地域の個性や魅力を生かし、住民が本当に「ここに住み続けたい」「住んで良かった」と実感できるまちづくりを実現するために「三面地域まちづくり計画」を策定いたしました。

1 地域の特徴、課題

三面地域は、雄大な朝日連峰を源とする三面川が中央を流れ、その川沿いに岩崩、荃太、千縄、新屋、中新保、堀野、石住、上中島、布部、猿田の10集落が点在し、1,410人、393世帯が暮らしています。（平成24年1月1日現在：住民基本台帳）

また朝日スーパーライン、三面ダム、奥三面ダム、二子島森林公園、縄文の里朝日、布部やな場など自然や歴史文化を利用した観光施設に恵ま



れており、地域を訪れる人は多く、夏には鮎釣りの人々などで賑わいを見せています。

しかし、昭和30年に3,599人だった人口も、社会情勢の変化や奥三面ダム建設に伴う集団移転等により、今では当時の半数にも満たず、少子高齢化が進行し、後継者不足により地域のコミュニティ活動や災害時の対応に支障をきたし始めていることから、新たなまちづくりを進める必要があります。

■三面地域人口推移

単位：人

区分	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成22年
人口	3,599	2,687	2,222	2,006	1,949	1,535	1,366
増減	—	△912	△465	△216	△57	△414	△169

注) 数値は国勢調査

2 地域のまちづくりの理念、将来像（目標年度：33年度）

三面地域まちづくりの理念を「三面の雄大な自然と伝統・風景を大切にしながら、活気と地域愛に満ちたまちをつくる。」とし、次の4つの将来像の実現を目指します。

- 一、地域で支え合うという意識が高く、子供からお年寄りまでが安心して生き生きと暮らせるまちを目指します。
- 一、豊かな自然環境が守られ、美しい里山の風景があるまちを目指します。
- 一、集落行事やスポーツ大会を通じて、住民同士の交流が盛んに行われ、お互いのつながりが強いまちを目指します。
- 一、三面の魅力に惹かれ訪れる人で賑わうまちを目指します。

3 具体的な取組みの方向性、実施事業等（計画年度：24年度～33年度）

基本方針	取組みの方向性や実施する事業
地域資源の調査・活用と情報発信により、交流人口の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設を整備し有効利用を図る。 ・地域資源を利用し他地域と交流する機会をつくる。 ・案内看板や案内マップを作成し、地域の情報を発信する。
地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体のイベントを行う。 ・地域住民の健康増進につながるスポーツ大会を行う。
地域の特色を生かした産業振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品の掘り起しを行い、直売所をつくる。 ・耕作放棄地の有効利用を図る。 ・若者や元気なお年寄りが仕事のできる場所をつくる。
地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動を行う。 ・自然環境の保全を図る活動を行う。 ・地域住民が安心安全に暮らせる取り組みを行う。 ・誰もが利用できる公園を整備する。
集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種伝統文化や行事の後継者を育てる。 ・高齢者を支えるボランティア組織をつくる。 ・集落行事・文化に対し支援する仕組みをつくる

4 事業計画年度（実施年度：24年度～33年度）

基本方針	事業項目	実施年度										備考		
		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33			
地域資源の調査・活用と情報発信により、交流人口の拡大を図る。	観光施設の整備													
	交流事業の開催													重点実施
	地域情報の発信													
地域住民の交流と健康増進を図るイベントを開催する。	地域全体イベントの開催													重点実施
	地域住民のスポーツ大会の開催													
地域の特色を生かした産業振興を図る。	地域特産物の発掘													
	地域特産品の販売													
	土地の有効利用													
地域の美化、自然環境の保全に努め、安心安全なまちをつくる。	クリーン作戦													重点実施
	花いっぱい運動													重点実施
	自然環境調査													
	防犯防災活動													
集落の行事・文化への支援と地域で支える仕組みをつくる。	後継者育成													
	ボランティア組織づくり													
	集落活動支援													

代議員名簿（敬称省略）

	氏 名	選出集落
1	大 滝 淳 子	岩 崩
2	鷺 尾 スミイ	岩 崩
3	青 山 進	岩 崩
4	藤 原 富 丸	荃 太
5	細 島 元 博	荃 太
6	高 橋 昇	千 縄
7	田 村 博 幸	千 縄
8	高 橋 妙 子	千 縄
9	長谷部 幸 一	新 屋
10	貝 沼 康 弘	新 屋
11	木ノ瀬 圭 三	新 屋
12	佐 藤 み か	新 屋
13	菅 井 真紀子	新 屋
14	本 間 正 隆	中新保
15	本 間 賢 一	中新保
16	貝 沼 正 也	堀 野
17	石 栗 平	石 住
18	佐 藤 吉 一	石 住
19	本 間 浩 栄	石 住
20	小 田 正 哉	上中島
21	板 垣 美奈子	上中島
22	小 池 博 子	布 部
23	丹 大 輔	布 部
24	高 橋 英 明	布 部
25	高 橋 健 悦	布 部
26	大 田 陽 祐	布 部
27	本 間 利 子	布 部
28	富 田 美世子	布 部
29	高 橋 勝	布 部
30	板 垣 誠 一	猿 田

評議委員名簿（敬称省略）

	役職	氏名	備考
1	岩崩区長	本間金廣	
2	荃太区長	高橋美紀	
3	千縄区長	高橋芳光	平成26年1月2日まで田村一幸
4	新屋区長	木ノ瀬 彰	
5	中新保区長	高橋 甚四郎	
6	堀野区長	貝 沼 実	
7	石住区長	石 栗 平 藏	
8	上中島区長	板 垣 英 一	
9	布部区長	本間進二	平成26年1月12日まで本間英三
10	猿田区長	佐藤信一	平成26年1月31日まで板垣信男

旧役員名簿（敬称省略）

	役職	氏名	選出集落
1	会 長	本間進二	布部
2	副 会 長	本間利廣	岩崩
3	副 会 長	菅井一志	新屋
4	事務局長	板垣俊和	上中島
5	理 事	鷺尾光幸	岩崩
6	理 事	佐藤正利	荃太
7	理 事	田村吉雄	千縄
8	理 事	佐藤 信	新屋
9	理 事	高橋章平	中新保
10	理 事	貝沼一夫	堀野
11	理 事	石栗芳昭	石住
12	理 事	佐藤幸子	布部
13	理 事	佐藤正勝	猿田
14	監 事	高橋利行	千縄
15	監 事	本間 誠	石住

事務局（市担当職員）

1	五十嵐 忠幸	朝日支所地域振興課
---	--------	-----------